

臨床栄養学

基礎編

改訂
第2版

◆ 序 本田佳子, 土江節子, 曾根博仁

第1章 臨床栄養学の基礎

本田佳子 12

1 意義と目的 13	2 疾患と栄養 16
A. 内部環境恒常性の栄養支援 13	A. 疾患の成因としての栄養 16
B. 自然治癒の促進 14	B. 生活習慣病 16
C. 症状の悪化・再発の防止 15	C. 疾患の結果（病態）としての栄養障害 16
D. 症状の改善 15	
E. 摂食支援 15	
F. QOL（生活の質，人生の質） 15	
G. ターミナルケア（終末期医療） 15	
	Advanced リスボン宣言に示された患者の権利 17

第2章 チーム医療，在宅医療

鞍田三貴(1~2), 山下扶美(3・4D・5D) 19
井尻吉信・山東勤弥(4A~C・5A~C)

1 チーム医療，栄養サポートチーム(NST) 20	4 医療倫理 27
A. さまざまなチーム医療 20	A. 生命倫理，医の倫理，守秘義務 27
B. わが国の栄養サポートチーム(NST) 20	B. 患者・障害者の権利・心理 29
C. NSTにおける管理栄養士の役割 20	C. インフォームドコンセント 29
	D. リスクマネジメント 30
2 クリニカルパス 21	5 福祉・介護と在宅医療 30
A. クリニカルパスの意義と歴史 21	A. 国際疾病分類(ICD)，国際障害分類(ICIDH)，国際生活機能分類(ICF) 30
B. クリニカルパスの役割 21	B. ノーマリゼーション 32
3 医療保険制度 23	C. 在宅医療，訪問看護 32
A. 医療保険制度における入院時食事療養制度・栄養食事指導料 23	D. 介護保険制度における基本食事サービス 33

Advanced 数値だけを見るのではなく，病態に臨む 38

第3章 栄養ケアマネジメントの概要

水元 芳 42

1 栄養ケアマネジメントの概要 43	2 栄養ケアマネジメントの過程 44
A. 栄養ケアマネジメントの必要性 43	A. 傷病者の栄養ケアマネジメント 44
B. 栄養ケアマネジメントの定義 43	B. 要支援者・要介護者の 栄養ケアマネジメント 47
	Advanced 栄養ケアプロセス 50

第4章 栄養アセスメント

河原和枝 (1~5) 53
土江節子 (6~7)

1 意義と目的 54	6 食生活状況の把握 71
A. 傷病者の栄養アセスメント 54	A. 調査内容 71
B. 要支援者・要介護者の栄養アセスメント 54	B. 外来患者への調査 (入院患者に実施する場合もある) 71
2 栄養スクリーニング 55	C. 入院患者への食事調査 72
A. 栄養スクリーニングの意義 55	D. その他の調査方法 73
B. 栄養スクリーニングの方法 55	7 栄養アセスメント 73
3 フィジカルアセスメント 57	A. エネルギーのアセスメント 73
A. 主観的評価 57	B. たんぱく質のアセスメント 74
B. 包括的評価 57	C. 脂質のアセスメント 75
C. 自覚症状の観察 57	D. 炭水化物のアセスメント 75
D. 主訴, 現病歴(現症), 既往歴, 家族歴, 生活歴 61	E. 水分のアセスメント 75
4 臨床検査 62	F. ビタミンのアセスメント 76
A. 栄養状態の評価指標 63	G. 無機質(ミネラル)のアセスメント 76
B. 病態の評価指標 66	H. 総合的な栄養のアセスメント (健康・栄養問題の決定) 76
5 身体計測 68	Advanced 要介護高齢者に対する栄養評価 77
A. 測定項目 68	
B. エネルギー貯蔵状態のアセスメント 70	
C. 体たんぱく質の貯蔵状態のアセスメント 71	

第5章

栄養ケア計画のプロセス

佐藤敏子・宮本佳代子 80

1 栄養ケアの目標設定	81	3 栄養ケアの実施内容	85
2 栄養ケア計画	81	A. 治療における栄養食事療法の意義	85
A. 必要栄養量の設定	81	B. 病院における栄養補給法の種類	85
B. 栄養補給法の決定	85	C. 保健機能食品と特別用途食品の活用	86

第6章

食事療法，栄養補給の方法

金胎芳子 90

1 食事療法と栄養補給	91	F. 経腸栄養補給に必要な器具・機械	103
A. 食事療法と栄養補給の歴史	91	G. モニタリングと再評価	104
B. 食事療法と栄養療法の特徴	92	H. 経腸栄養の合併症と対応	104
C. 栄養補給の選択	92	I. 在宅経腸栄養サポート	105
2 経口栄養補給	94	4 経静脈栄養補給	105
A. 治療食と介護食	94	A. 目的	105
B. 治療食の種類	94	B. 適応疾患と禁忌	106
C. 治療食の疾患別分類と主成分別分類	96	C. 投与経路	106
D. 一般治療食（常食，軟食，半固形食）	97	D. 経静脈栄養剤の種類と成分	107
E. 特別治療食	99	E. 栄養補給量の算定方法	108
F. 食品選択と献立作成	99	F. 栄養補給に必要な器具・機械	109
3 経腸栄養補給	100	G. モニタリングと再評価	109
A. 目的	100	H. 経静脈栄養の合併症と対応	109
B. 適応疾患と禁忌	100	I. 在宅経静脈栄養サポート	110
C. 投与経路	100		
D. 経腸栄養剤の種類と成分	102		
E. 投与方法	103		

Advanced

疾患別の診療・治療ガイドライン

111

第7章 薬と栄養・食物の相互作用

中島 啓 115

- 1 薬と栄養・食物の相互作用を学ぶ意義 116
- 2 栄養・食物が医薬品に及ぼす影響 116
 - A. 薬物動態学的相互作用 116
 - B. 薬理学(薬力学)的相互作用 119
- 3 医薬品が栄養・食事に及ぼす影響 120
 - A. 味覚, 食欲, 栄養素の消化・吸収・代謝・排泄に及ぼす薬物の作用 121
 - B. 水・電解質に及ぼす薬物の作用 123

Advanced

NSAIDsの副作用が主作用!? 125

第8章 栄養ケアの記録

久保ちづる 127

- 1 栄養ケアの記録 128
- 2 問題志向型システム(POS)の活用 128
 - A. 問題(problem) 128
 - B. 志向(oriented) 128
 - C. システム(system) 128
- 3 SOAPに基づく記録用 131
 - A. S(subjective data, 主観的情報) 132
 - B. O(objective data, 客観的情報) 132
 - C. A(assessment, 評価)
[D(diagnosis, 診断)] 132
 - D. P(plan, 計画) 132

Advanced

管理栄養士として
現場で何を求められているか 134

第9章 栄養教育の実施

土江節子 136

- 1 栄養教育(栄養食事指導) 137
 - A. 栄養教育(栄養食事指導)の意義と目的 137
 - B. 栄養食事指導の方法 138
 - C. 栄養食事指導の流れ 139
 - D. 栄養食事指導の媒体 142
 - E. 栄養食事指導の要点 142
 - F. 栄養食事指導の結果の報告 143
 - G. 医療チームによる指導
(カンファレンスへの参加) 143
 - H. 栄養食事指導システムのアセスメント 145
- 2 要支援者・要介護者への
栄養食事指導 145
 - A. 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・
介護療養型医療施設における栄養食事指導 145
 - B. 居宅者への栄養食事指導 145
- 3 行動科学理論と
カウンセリングの応用 145
 - A. 行動科学理論 145
 - B. カウンセリングの応用 147

Advanced

栄養教育(栄養食事指導)の上達には 151

第10章 栄養ケアのアセスメント

土江節子 153

1 栄養ケア開始後の臨床経過のモニタリングと評価 (リ・アセスメント) 154	D. 結果評価 (中期・長期目標) 160
A. 栄養ケア開始後の病態・栄養状態のモニタリングと評価 (リ・アセスメント) 154	E. 経済評価 160
B. 栄養摂取量・食生活状況の把握とアセスメント, 必要栄養量のアセスメント 157	F. 総合的評価 161
2 必要栄養素の検討 158	5 臨床介入の評価 161
3 栄養ケアの修正と再実施 159	A. 無作為化比較試験 161
4 評価の種類 160	B. コホート研究の応用 161
A. 企画評価 160	C. 介入前後の比較 161
B. 経過 (形式的) 評価 160	D. 症例対照研究の応用 (後ろ向き研究) ... 162
C. 影響評価 (短期目標) 160	E. 事例評価 (個別) 162
	6 栄養ケアの報告・記録 162
	Advanced 「かかりつけ医」と「病院」の連携 (例: 糖尿病) 163
◆ 付録 (臨床で役立つ医学用語一覧) 監修/本田佳子・曾根博仁 165	
◆ 索引 170	

Column

診療報酬の改定とは? 26	食事療法の先駆者 ~ ^{たかき かねひろ} 高木兼寛 91
管理栄養士の仕事場って? 35	治療食の変革 96
CONUT 栄養評価法 46	食品, 栄養素の“副作用” 124
栄養評価としてのアルブミン値 48	医師からの依頼と, 管理栄養士による 栄養食事療法計画が異なる例 139
居宅サービスにおける栄養改善サービス 49	問題点とその原因をとらえよう 140
地域連携栄養ケア体制を強化 49	再指導はどのように行う? 142
臨床検査の変動要因 62	糖尿病療養指導士 143
リフィーディング・シンドローム (refeeding syndrome) 74	行動療法とカウンセリングの人間観 146
体重の増減を考える 81	経腸栄養剤の摂取状況把握の必要性 158
定期的なアセスメントによる必要栄養量の調整 82	経口摂取の重要性 159
間接熱量測定法による呼吸商 ($RQ = VCO_2 / VO_2$) のアセスメント 83	